

7 / 15 時間目の学習で
どんなおくりものか
考えさせる

《工夫》読み手に考えさせるため、「問い」と「答え」という述べた方をしている。



めあて
別のおくりものについて読み取り、
筆者の述べ方の工夫をさぐる

学習課題
SOS!地球の緑を守れ!
筆者の工夫を取り入れながら、
調べたことを意見文にまとめよう

森林のおくりもの
富山和子

6 / 15 時間目 指導略案 ワークシート
活動のねらい

別のおくりものについて読み取り、筆者の述べ方の工夫を読み取ることができるようにする

1 本時のめあてを確認する。

2 形式段落（26～36）を読み、別のおくりものについてまとめる。

本時のめあてを意識しながら、本文を読む。

3つのおくりものについて「問い」の文章を見付け、付せんに書き出し、書いてある順にワークシートにはり出す。

（発問）「紙」や「火」の段落で「問い」の文に着目しましたが、そのような「問い」の文を文末に注意しながら見付け、付せんに書きましょう。

（発問）また、「問い」の答え（森林の働き）を見付けて、ワークシートに書き出しましょう。

考えをペアで対話する。

全体で「問い」と「答え」を確認しながら、ワークシートに整理する。

3 筆者の述べ方の工夫について確認する。

（発問）別のおくりものこのことを読み手に伝えるために、筆者はどんな述べ方の工夫をしているでしょう。

・ 「問い」「答え」という表現を取り入れ、読み手に考えさせていることを押さえる。

【評価】 叙述を基に事例を整理したり、友達と考えを交流しながら 筆者の主張や表現の工夫について読み取っている

4 学習を振り返り、めあてについて自己評価する。